

令和元年度
まちづくり活動
アシスト事業報告

余土ぶらっと見て歩き 余土を知ればもっと余土のことが好きになる

余土地区まちづくり協議会

広報広聴委員会委員長

戸井田 樂



1 余土の魅力PR事業

余土地区は、松山市の南西部に位置し、明治時代に「天下の模範村」と言われた余土村を作った森盲天外をはじめ先人が築いたこの功績や教えを受け継ぎ、「身近なまちづくりは自分たちの手で」を合言葉に、平成21年7月に「余土地区まちづくり協議会」を設立しました。

このまちづくり協議会では、「みんなで創る元気で住みよい余土のまち」を目標にした10か年計画を立て、その中の「若い力が伸びるまち」づくりの一環として「余土の魅力づくり」事業に取り組んでいます。

2 「余土ふるさとマップ」の改訂版作成

平成26年4月に作成していた「余土ふるさとマップ」は、その後、松山外環状道路が建設されるなど、大きく地域が変化してきたことから、平成31年3月に「余土の魅力PR事業」として余土の歴史や地域の伝説等のあらゆるジャンルを調査し、掲載項目を大幅に増やした新たな「ふるさとマップ」を作り、このマップを片手に地域を歩く人が増えました。

3 「余土検定」の実施

マップの作成と同時に、この集めた資料を生かした事業として、余土に関した100問に挑戦し、「余土ものしり博士」の認定証を授与する「余土検定」の第1回を平成31年2月に実施しました。27名が挑戦し、ものしり博士の認定を授与されました。



余土検定の様子

4 「余土ぶらっと見て歩き」の編集・発行と「余土の風景」絵はがきの作成

この「余土検定」を行うに当たっては、事前に3回の講習会を開催しましたが、この講習会のために作成したテキストは33ページにわたる「余土に関するあれこれ」が入ったものとなりました。そこで、この資料を基にして令和元年度事業として、「余土ぶらっと見て歩き」という地域のガイドブックを編集・発行しました。

5 今後の計画

また、同時にガイドブックに掲載するため集まった写真を活用して、親元を離れて暮らしている家族等への近況報告や各種団体の記念品として利用してもらう「余土の風景絵はがき」を作成しました。

このように、「余土の魅力PR事業」として、「ふるさとマップ」の作成からスタートし、その資料を基に「余土検定」の実施、その講習会のテキストを利用して「余土ぶらっと見て歩き」の編集・発行と、常に次の事業へとつながるように継続していきました。この連鎖した事業を実施することにより、関わる人々や関心を持つてくれる人が段々と増えてきました。地域を好きになるためには、地域に関心を持つてもらうことをコンセプトに、今後とも地域に関心をもってもらおう「余土の魅力PR事業」を展開していきます。というふうに思います。



余土ぶらっと見て歩き